

活動内容の説明

富山県富山市を活動拠点とする流域ぶらっとフォームは、2020 年より神通川を中心に流域治水に関する活動を実施してきた。本活動では、流域治水対策を講じるうえで必要な異なるセクターの認識を収集するため、多様なステークホルダーと共に流域治水対策の共創を推進することを目的としたシンポジウムを主催する。

具体的には、2025 年度のシンポジウムを富山市内（調整中）で開催する。この年 1 回開催するシンポジウムは、流域治水対策の共創を推進する手法（「虎の巻」として公表準備中）を実践する場である。これまで他地域展開してきた、五ヶ瀬川流域と阿武隈川流域、並びに同じ富山県内の小矢部川流域は、地質、地形、気候などの自然要因に加え、経済圏や人口分布などの社会要因が神通川流域と異なるが、一方で実践してきた異なる流域治水対策手法が神通川流域でも応用可能であり、より効果的かつ効率的な共創手法を、他地域展開先を巻き込むことでの実践を図る。シンポジウムは単なる宣伝の場ではなく、このような共創手法の実践の場であり、共に考えることで、合意形成へ貢献する。



2024 年の市民ワークショップの様子



グラフィックレコーディング